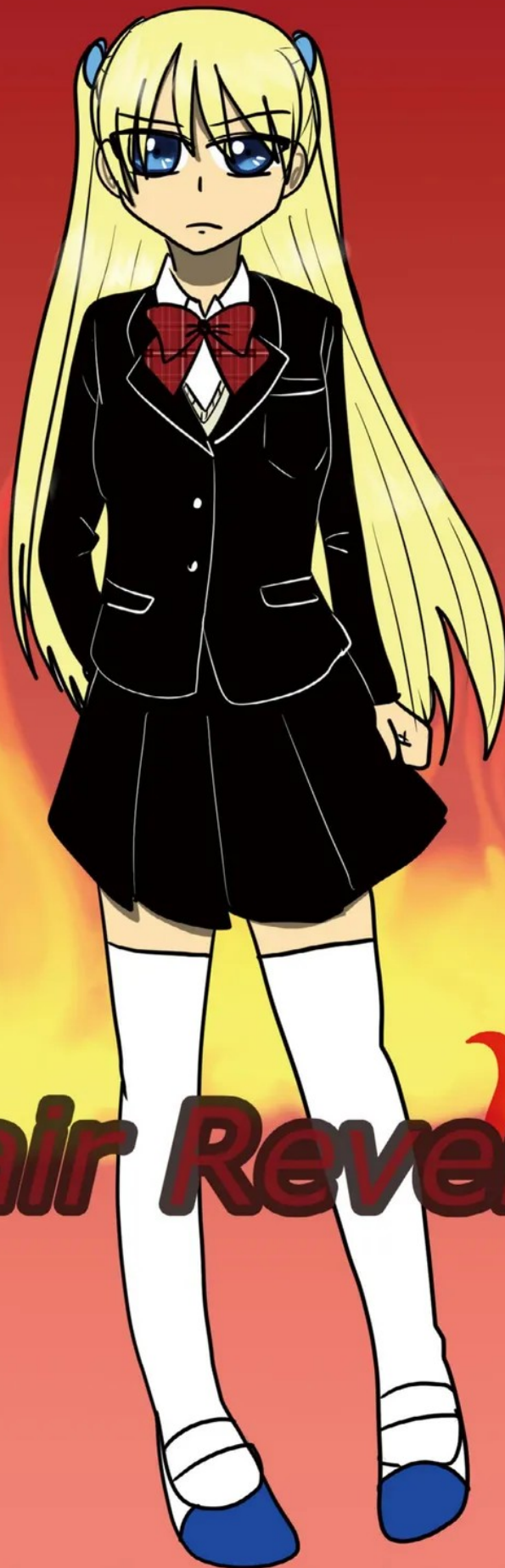




Hair Revenge

東京都千代田区
霞が関 文部省



今日君を
ここに連れて
来たのには
理由がある。

全国学校教職員調査

大臣^{うへ}から
やっと
許可が出た。

聖リテール学院の
調査を命じる。



了解。
直ちに調査に
入ります。

学校法人
聖リテール学院
高等部

えー転校生を
紹介する。今日から
うちのクラスの
仲間になったー！

来島伊邪也くるしま いぜやです
宜しくお願いします。

来島伊邪也

略称は
学校調査官

じゃあ今日は
全国学校教職員
調査官のことから
始めよう。

全国学校教職員
調査官はその名の
通り学校の不正を
調べる者で…

最初は普通の
生徒だと思っ
ていた。

彼がやって来たのは
四月になった。間もない
頃だった。

それじゃあ
そこに座って
そのまま授業を
始めよう

高等部 2年C組
さいとう かいん
齋藤 夏音

だが、それは大ハズレ。
彼は編入するや否や
常に成績は一位、スポー
ツ万端、容姿もよく数ヶ月も
しないうちに学院の上位者
に成り上がっていった。

学年順位
1. 伊邪也
2. 夏音
3. 嘉三
4. 美サ
5. ア
6. 辰
7. 涼
8. 道
9. 達
10. 遠

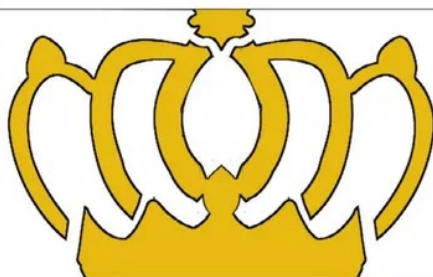
中間考査
1. 来島
2. 齋藤
3. 麻生
4. 安瀬
5. 戸田
6. 多遠
7. 藤暮
8. 小山
9. 神

キヤー

そうなる
と出てくる
問題がある

聖リテール学院で
行われている
カースト制度だ。

彼は最高順位の
「王^{キング}」の位の称号を
得ているがその制度を
一切利用しなかった。



制度を利用しない
という点からか
女子からの評価は
ますます上がって
いった。

そんな彼に對し
興味を持つていい
フリをしつつも内
嫉妬に似た感情を
持つて接していた。

そう
あんな事件^{こと}
が起こるまでは…



お昼休み中の皆さん
こんにちは！
生徒会長選に立候補
致しました生徒会副会長
2年A組の麻生美嘉です！

是非とも
麻生美嘉を
よろしく
お願いします！

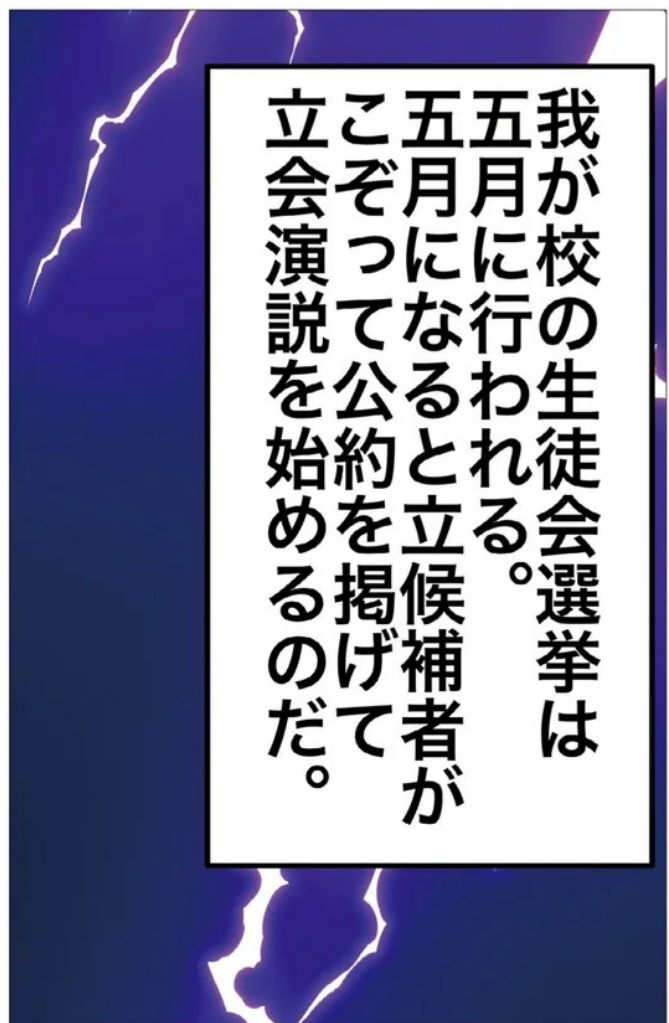


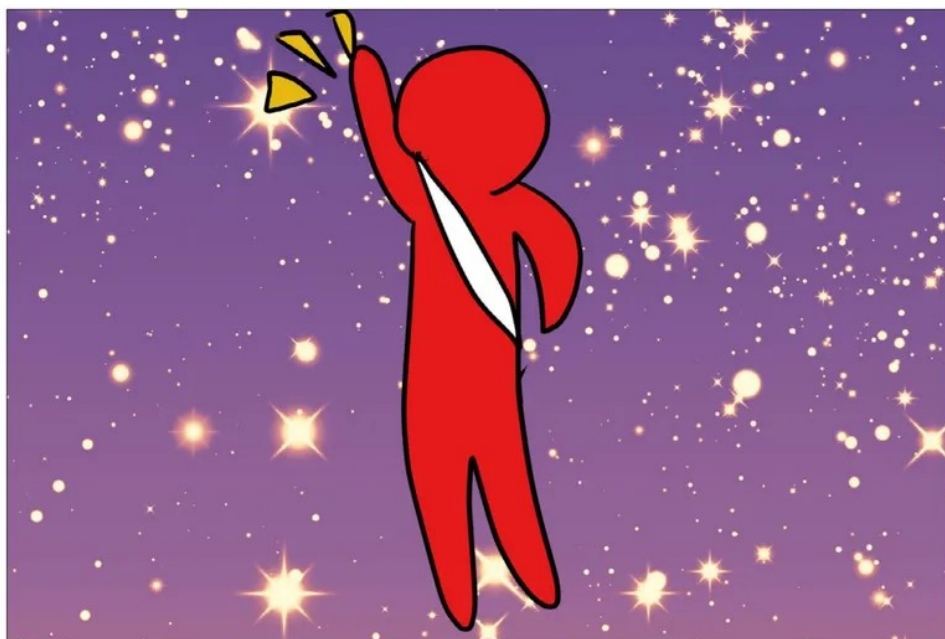
今日も
やつてるねえ
演説。

ああ
もうすぐで
生徒会選が
始まるからな



我が校の生徒会選挙は
五月に行われる。
五月になると立候補者が
こぞって公約を掲げて
立会演説を始めるのだ。



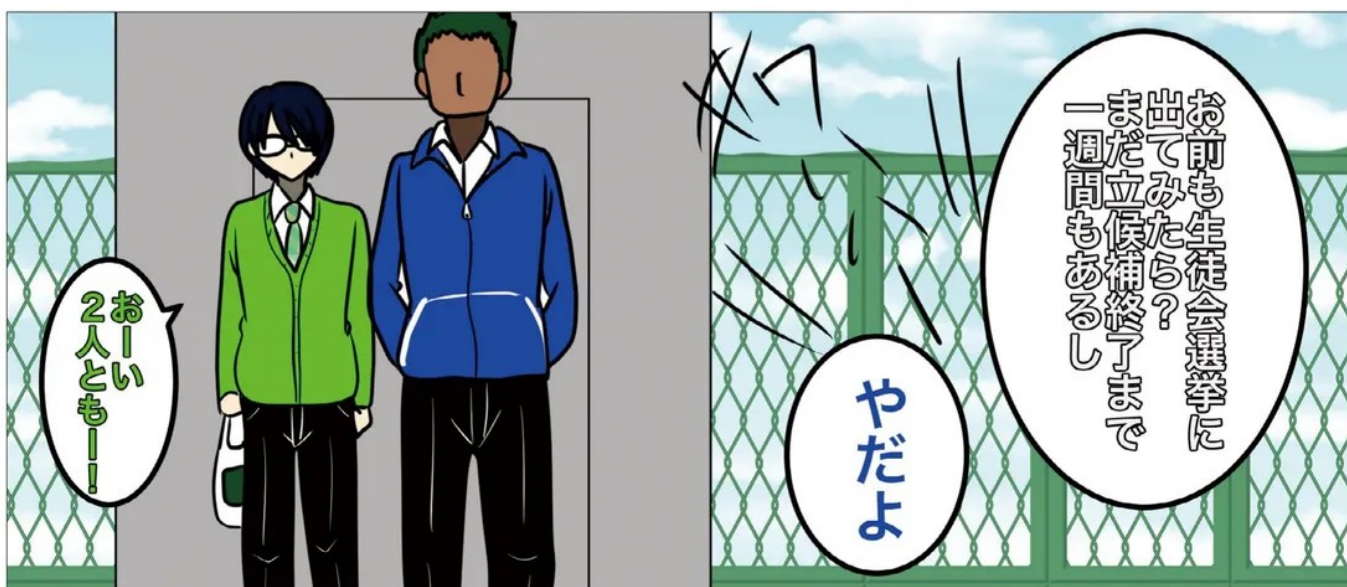


生徒会選に勝てば
推薦で有名大学に
行ける切符を得る
こととなるため、
皆こぞって立候補
するのだ。



さあな

でも今年は
あの人1人だけ
だね。何でだろう？



おーい
2人ともー！

やだよ

お前も生徒会選挙に
出てみたら？
まだ立候補終了まで
一週間もあるし



立候補者の
取り巻きに
やられたんだよ。

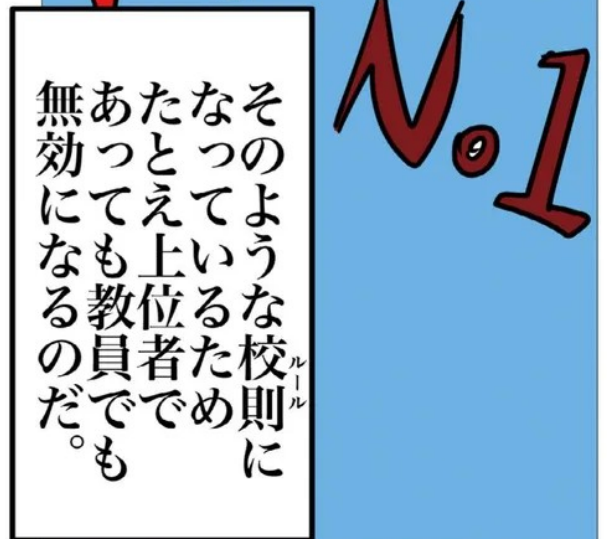
えっ

購買部に
向かう途中で
捕まったな
らしくてな

振り払おうと
したらどうやら
取り巻きの1人が
ナイフを持ってた
らしくて...

自分が来て
止めてなかつたら
もつとひどいことにな
ってただろうな。

それ、ガッツリ
違法行為じゃん！
先生に報告して
どうにかしないと...



もしそれを
あいつ
理事長や学院長が
知ってしまったら
どうなるのか

：チャイム
鳴ったぞ
戻ろう。

ああ…

ねえ
本当に
やるの？

ああ

理事長室

そう考えてしまうと
どうしても
足がすくんでしまい、
行動できなかつた。



文部省を取ったら
騙し金で
補助金切る
一使いして
お前なんか
いないぞか？





文部省からくる
私立学校支援補助金を
少し使っただけよ。



そうだったな。
それを少し使って
学院にいる生徒を
買ったただけだもんな



それで文部省から
貰った金を使つて
ワシらも生徒を
買つて利用する…

ええ
とてもいい
ことですわい

嘘だろ…？

特に今年は
生徒会選前に予め
出そうなのは正解
潰したの！

あいつら小心者
だからな。内申に
響くぞつてカマ
かけたらあつさり
引き下がったし。

今年は夏音も
いるしやけに優秀な
連中しかいなかった
からな…

ええ
本当にいい
対策でした。

あの子も
よく条件
飲んでくれた
わよね。

子供って単純よね
「生徒会選に立候補して
生徒会長になれば夢大
への推薦状を書くし
生徒でも教員でも好きな
ようにする権利をやる」と
言ったら食いついてきて

あの子、自分が
利用されていると
気がついてないから
余計に滑稽よね。

ああ
そのことね

そういえば
文部省にもし
バレたら
どうするんだ？

ははははは

そりゃあ
いい考えだ！

大変だ……
夏音君たちに
知らせないと……！

痛っ！

誰だっ！

「出来心で金庫にある
文部省からのお金を
盗んでしまった」
という体で夏音に
罪を被ってもらうわ。

そうすれば夏音と
オサラバできて
私達と亜鐘^{アベル}三人で
仲良く暮らせるわ！

辰哉に
タダやん
どうしたの？

おいっ
紫紋いっ
ないか？

見てないけど…
どうしたの？

紫紋が
見当たらない
んだよ…

えっ

もしかしたら
夏音のところに
いると思っただけ…

結局
見当た
らなかった。

わかった
じゃあ僕も
一緒に探しに
！…

その必要はない

！





来島伊邪也…

一体、何が
どうなっている
のか説明して
もらおうか…。

ここでは詳細な
話ができない。
場所を移動しよう。

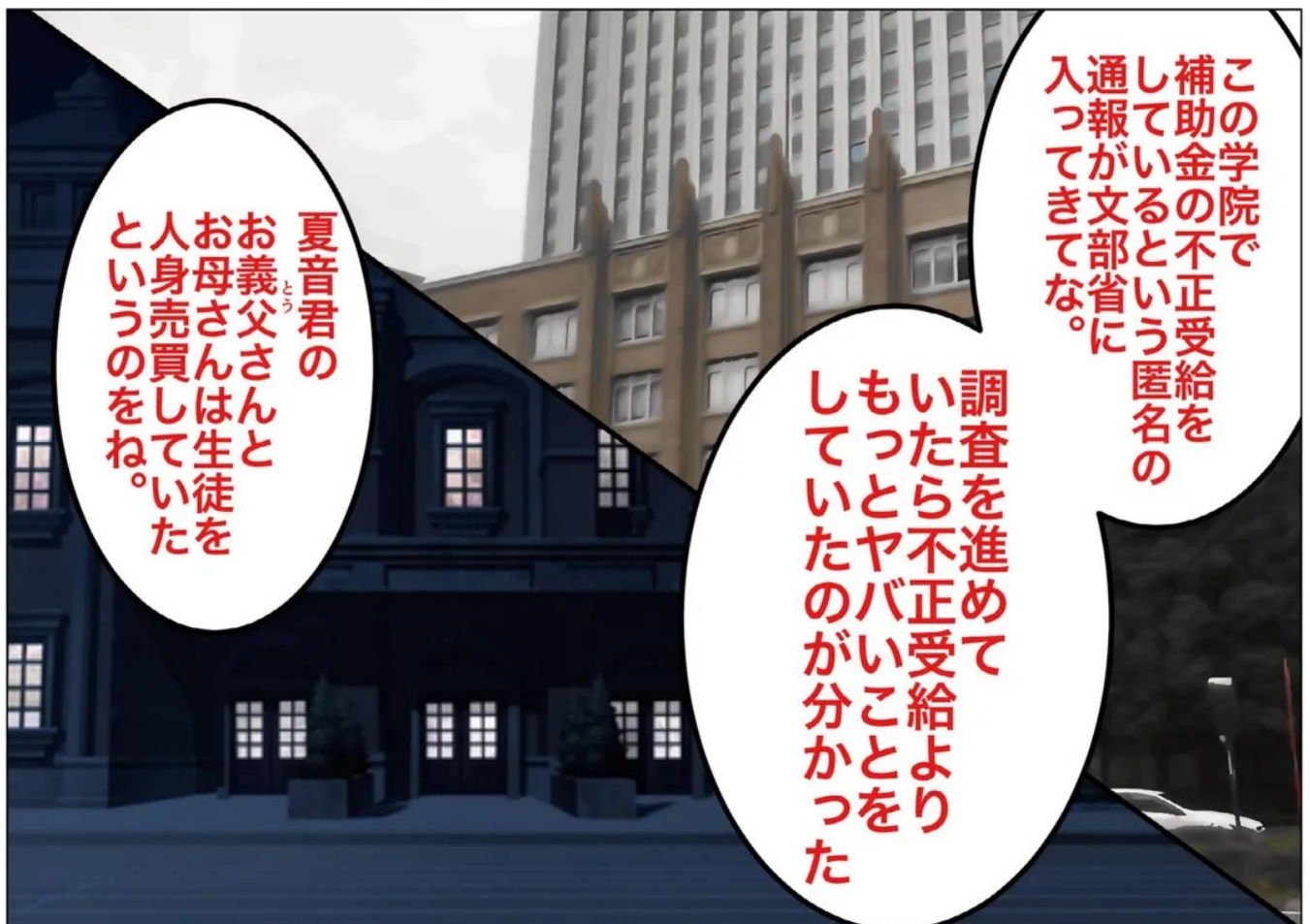


なるほど…
そういうことか



つまり貴方は
学校調査官で
学院の不正を確認
するために調査
しにきたと。

そうだ。



この学院で
補助金の不正受給を
しているという匿名の
通報が文部省に
入ってきてな。

調査を進めて
いたら不正受給より
もつとヤバいことを
していたのが分かった

夏音君の
お義父さんとお
お母さんは生徒を
人身売買していた
というのをね。





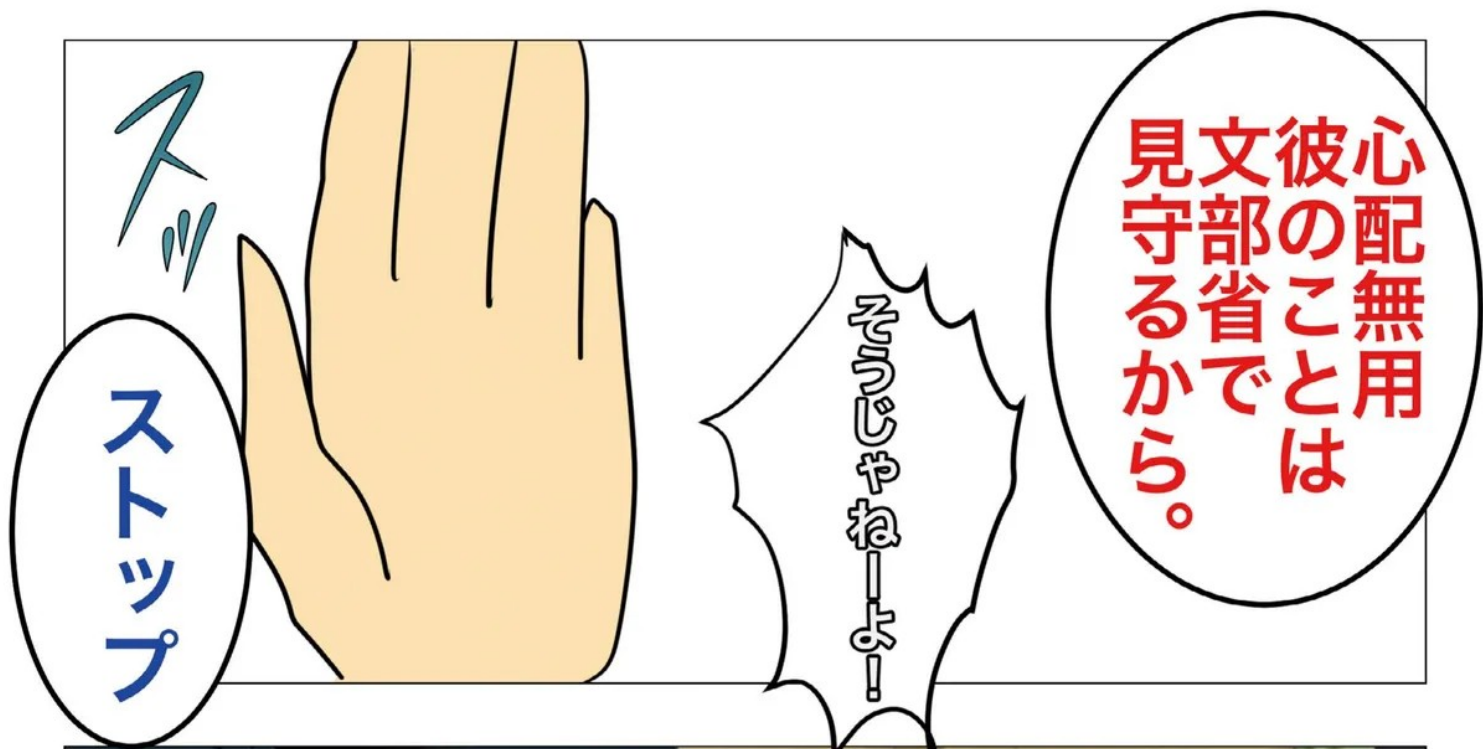
あいつら…
僕だけでなく
他の生徒にもまた手を
出していたなんて…

一体生徒を
何だと思っ
ている
絶対許さ
ない！



もうこうなっ
た。
以上は仕方
ない。
君たちには
逮捕の
協力をし
てもら
う。

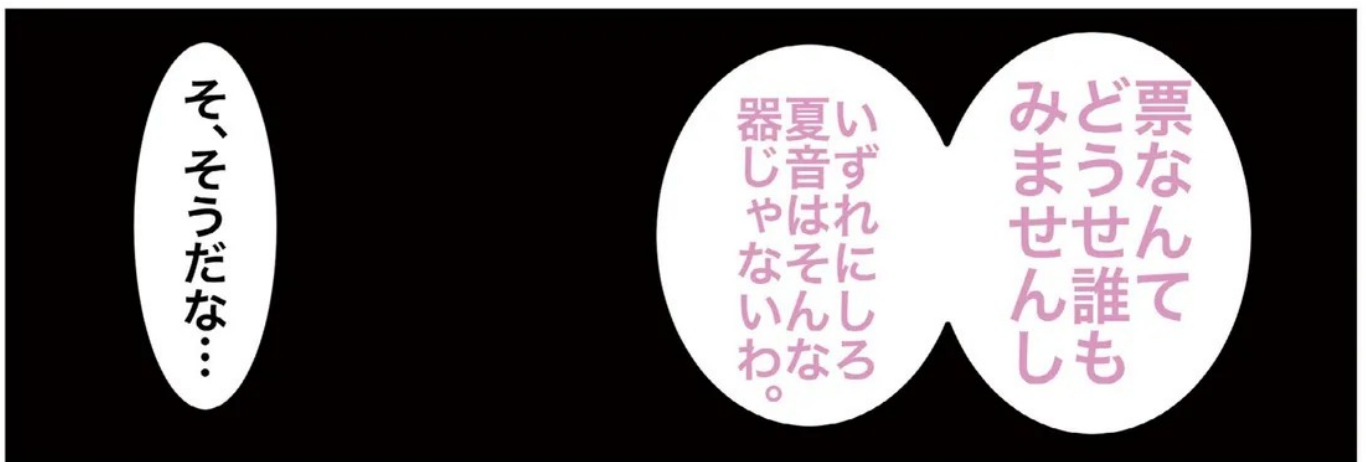
ええっ!?
ちよつと待
てよ
そんなこ
としたら
夏音は…











それでは早速
選挙管理委員会に
言ってきましたよう。

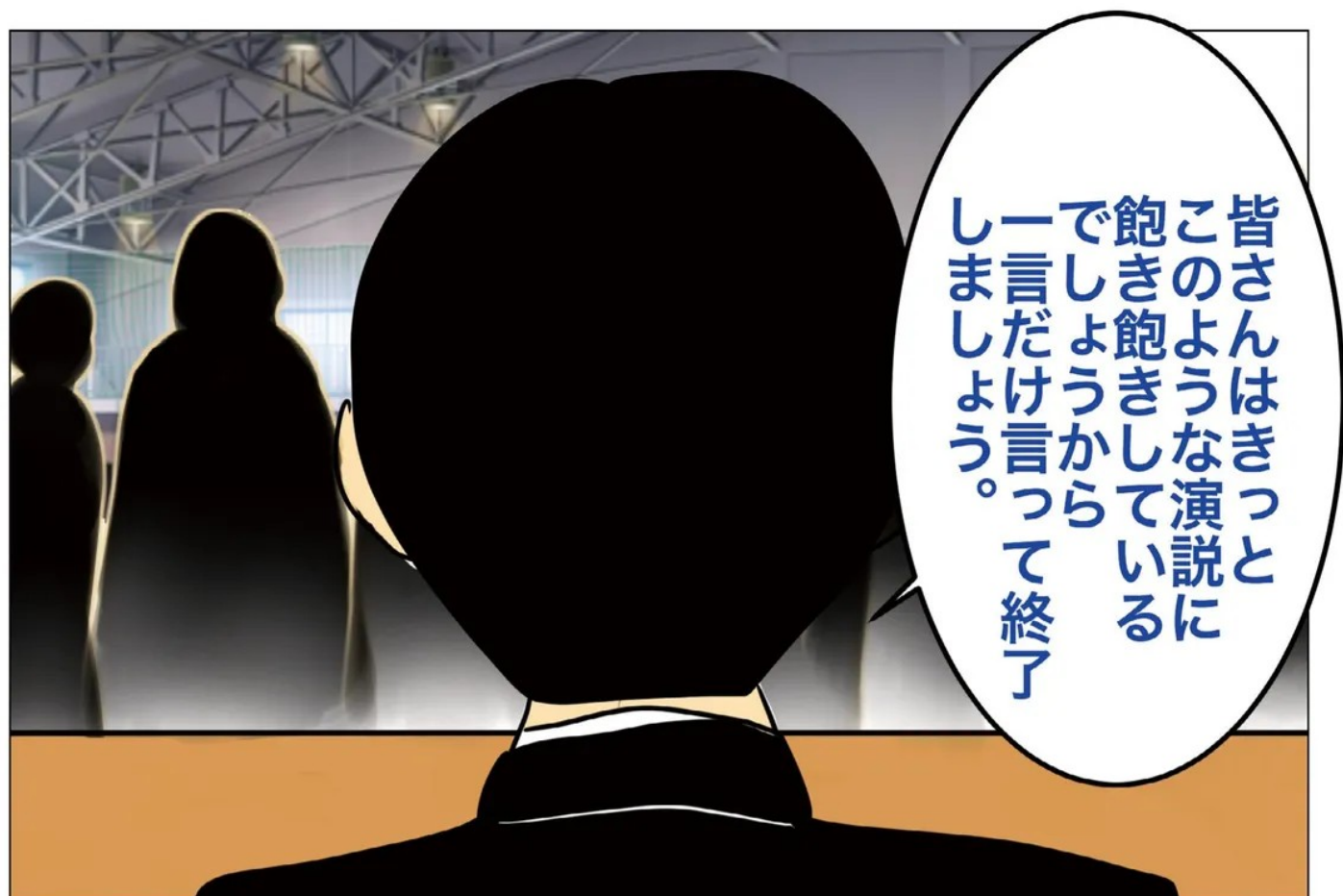
そうだな。



えー生徒の皆さん
こんにちは。お忙しい
ところ時間を割いて
すみません。

僕が、今回の
生徒会選に立候補
いたしました
2年C組の斎藤夏音
です。

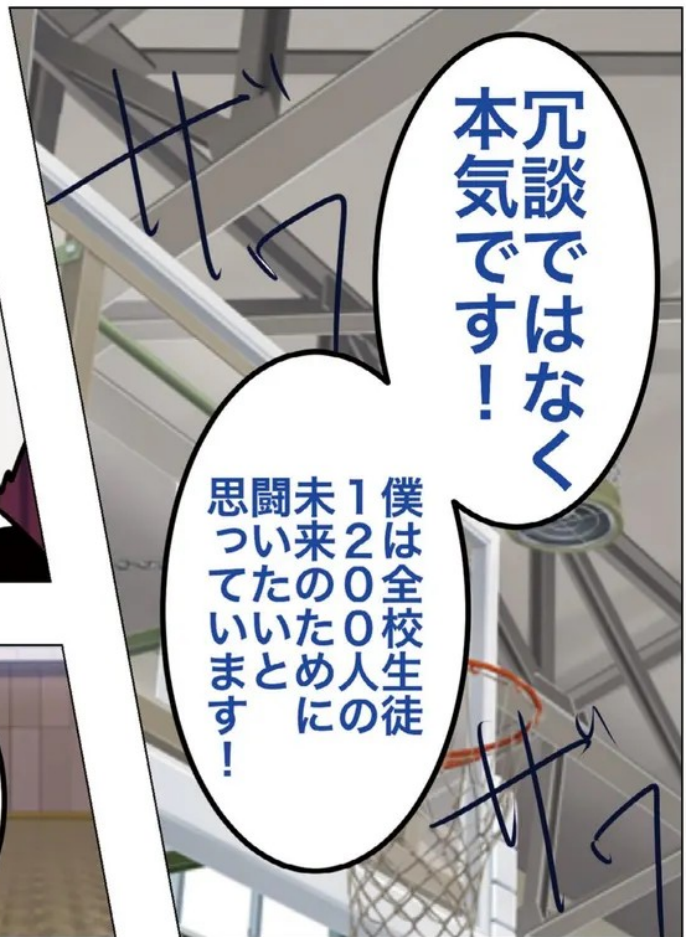




皆さんはきっと
このような演説に
飽き飽きしている
でしょうから
一言だけ言って終了
しましょう。



高等部の
カースト制度を
終わらせます。



カースト制度を
廃止し、新たな革命を
起こしますのでぜひ
投票をお願いします！
以上です。

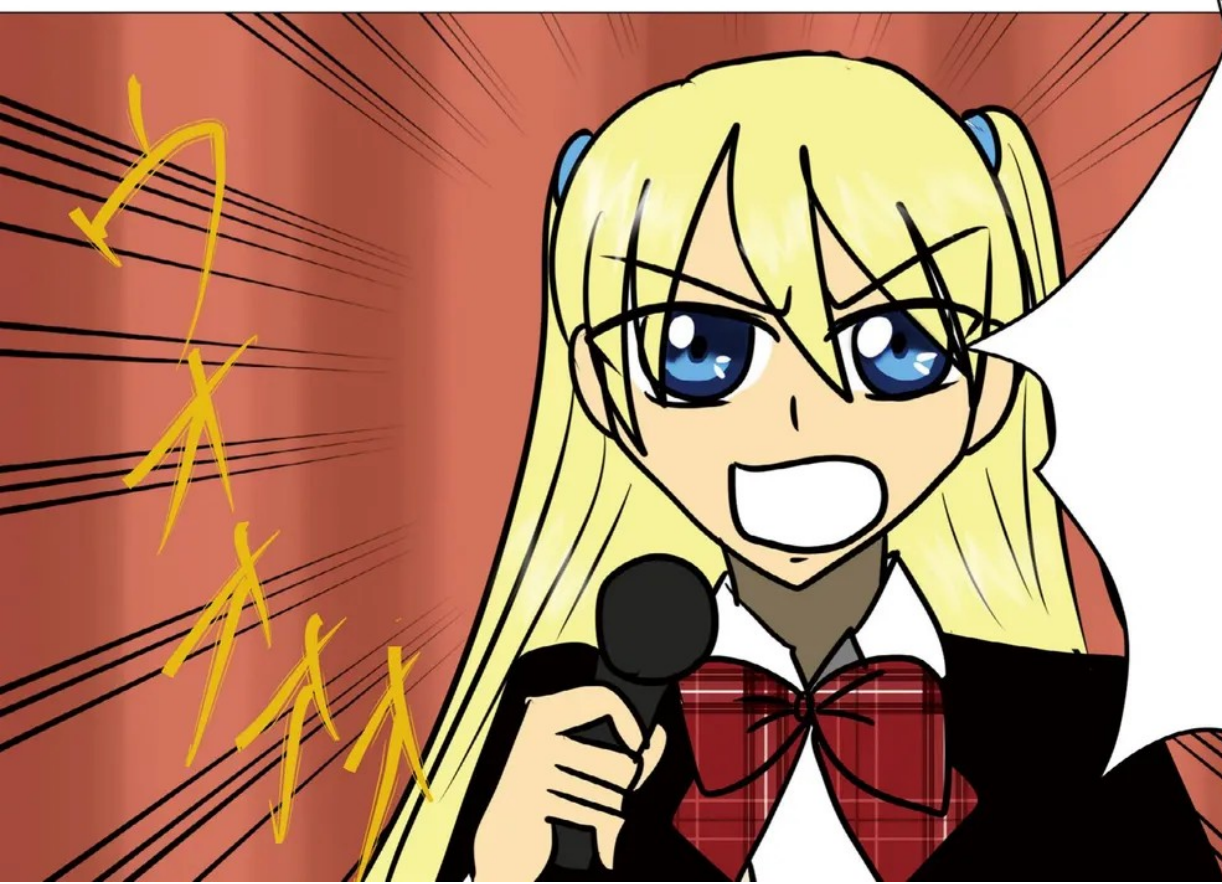
何が

革命を

起こす

ですって？

冗談じや
ないわよ！





騙されちゃダメよ！
この男が言っている！
この男は全て戯言です！
ですからこの麻生美嘉！
に投票してください！

騙されんな！



ならば投票という
民意で勝負しましょう
麻生副会長殿。
今ここで喧嘩なんか
したくないので。

そうなんだ！

…望む
ところよ…

上等よ…
いい度胸してる
じゃないの…

でもね啖阿切った
ところでアンタは
負けを認めているような
ものよ。

後ろには強力な
バックアップがいるし
絶対に負けるわけない！

投票日当日

これにて全校生徒の
投票が終了しました
ことをお知らせします

集計の結果が
出るまでしばらく
お待ちください。

現在、第二講堂
での集計結果を
待っています、



何グズグズ
しているのよ…
早くしなさいよ！

投票の集計が
終了しました。



只今より
生徒会長選挙の
発表を致します。



今年度の
生徒会長に
選ばれたのは…





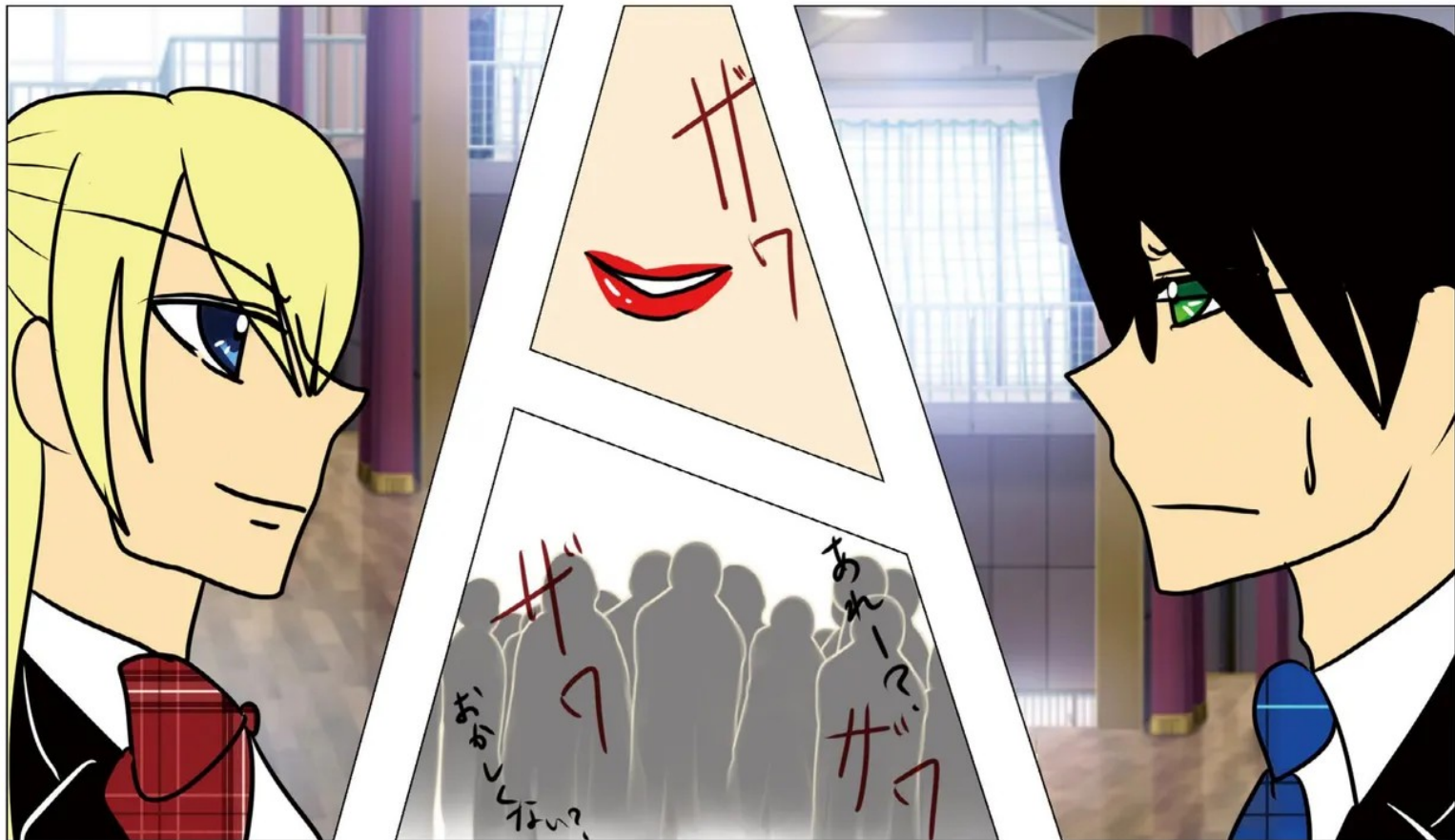
2年A組の
麻生美嘉さんです！

2年A組 麻生 美嘉 619

2年C組 斎藤 夏音 538

無効票 121





その投票結果
待ちよつと
待ったあ!



この投票結果は
麻生氏側が不正に
票を得た可能性が
高いです！

我々は
投票の無効を
主張します！

いいえ、
投票はまだ
終わって
いません。

スタ

な、何だね
君たちは！
もう投票は
終わって…

あれをみて
何も
思わ
ない
の
で
す
か
？

スタ

そ、それは…

無効票、麻生氏
斎藤氏の分全てを
足してなぜ全校生徒の
数をオーバー！
しているのですか！

2年A組 麻生 美嘉 619

2年C組 斎藤 夏音 538

無効票 121

！？

心配ありませんわ
どうせ勝てっこ
ないもの。

では、もしもの
ために票を多めに
入れるように選管
に言いましたよ。

票なんて
どうせ誰も
みませんし

いずれにしろ
夏音はそん
な器じゃないわ。

この声は……！

これで言い逃れは
できませんねえ
院長先生さんヨオ

なっ…
アンタは……！







わっ

もうこれで
言いたいね
できないね
麻生副会長？

いや、麻生さん

選挙管理委員！

は、はい！
生徒会長選則に
より、斎藤氏が
生徒会長となり
ます！

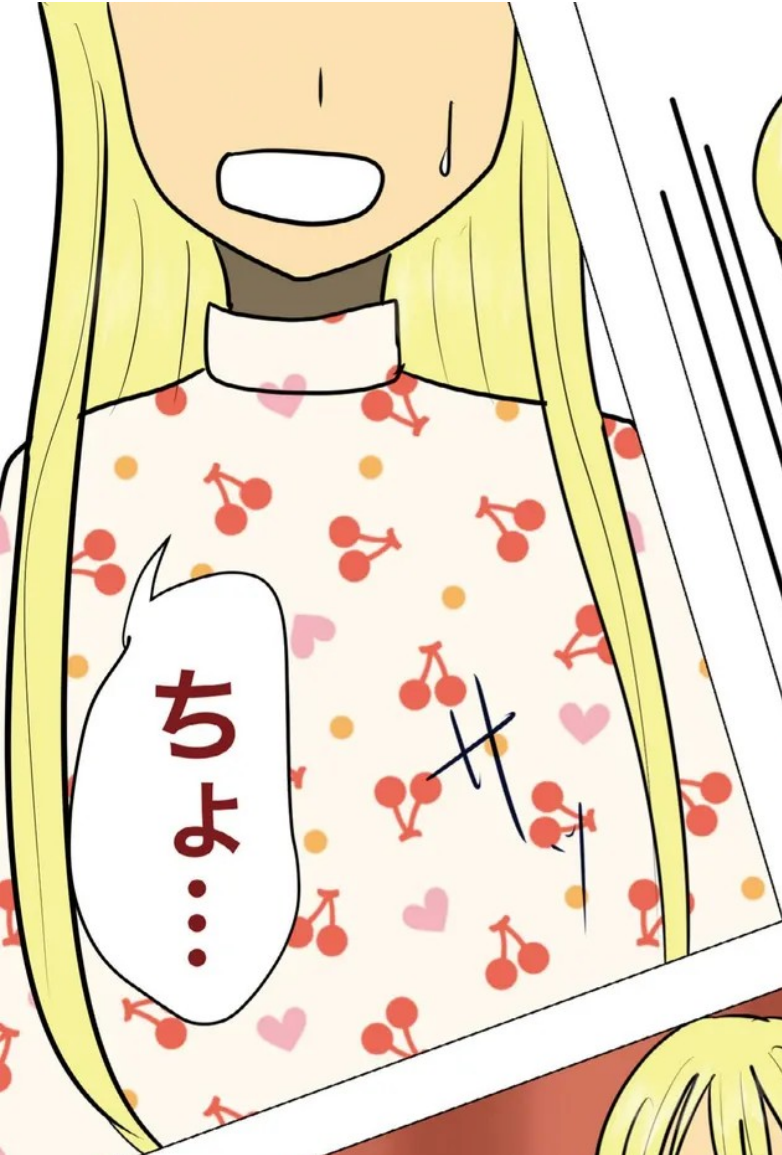
今の僕には権限
がないから
選管の判断に
よって君に罰を
課すことになる。



改めて生徒会長に
なりました
斎藤夏音です！
宜しくお願いします！



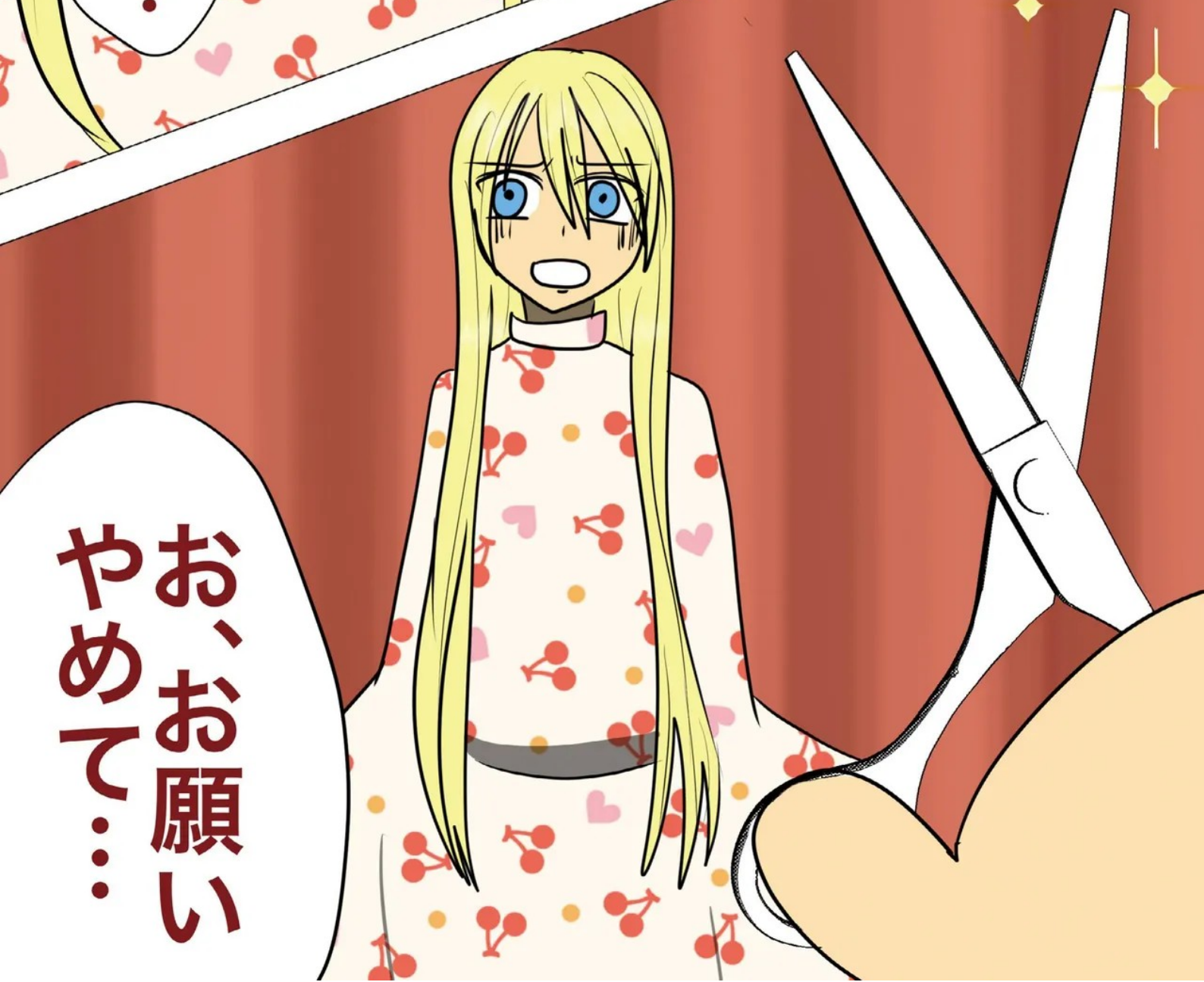
そして、カースト制度
最後の利用を麻生氏に
実行する！皆さんは
この制度がいかにも愚か
なのがよく見ておく
ように！



ちよ…



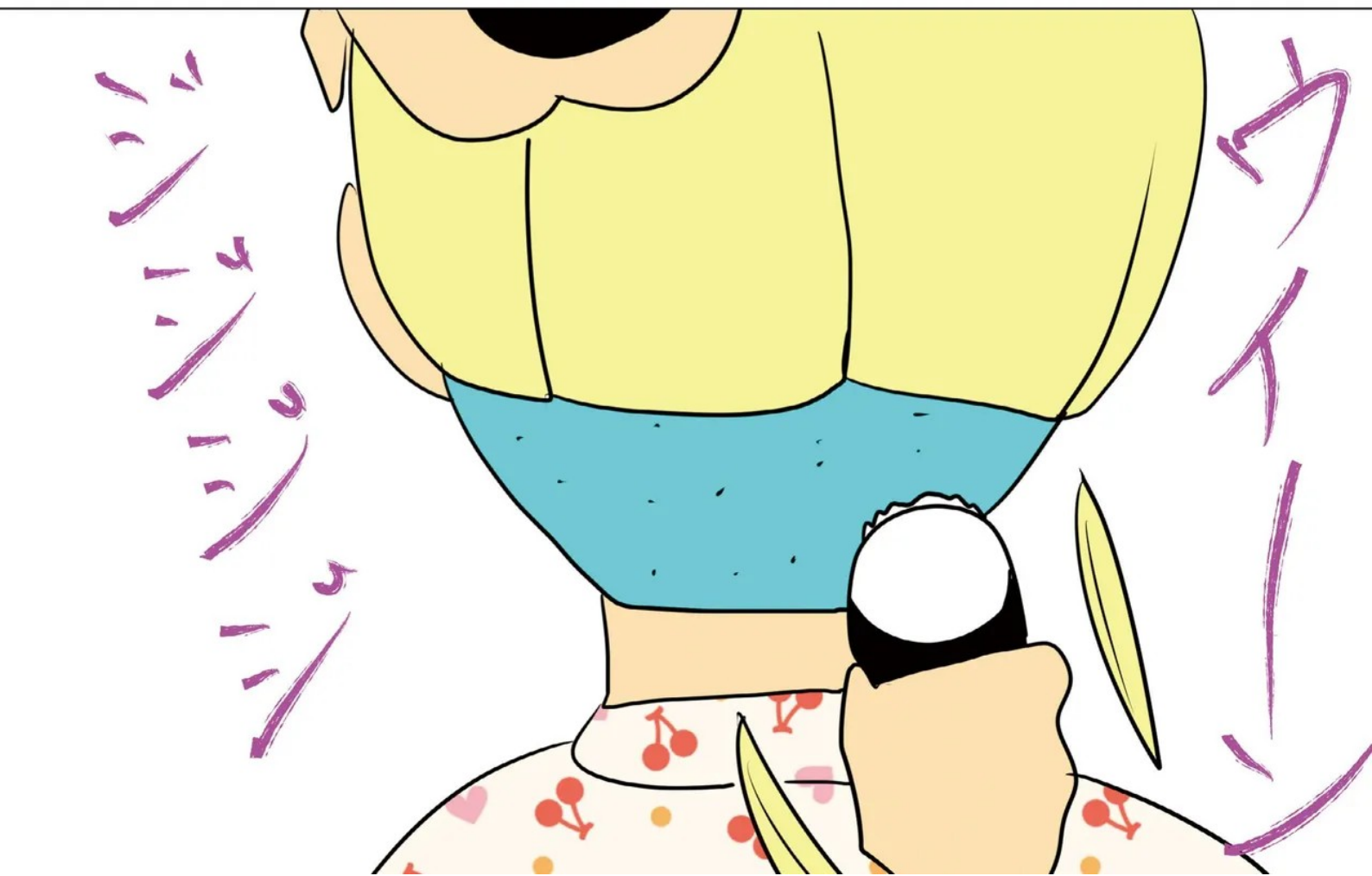
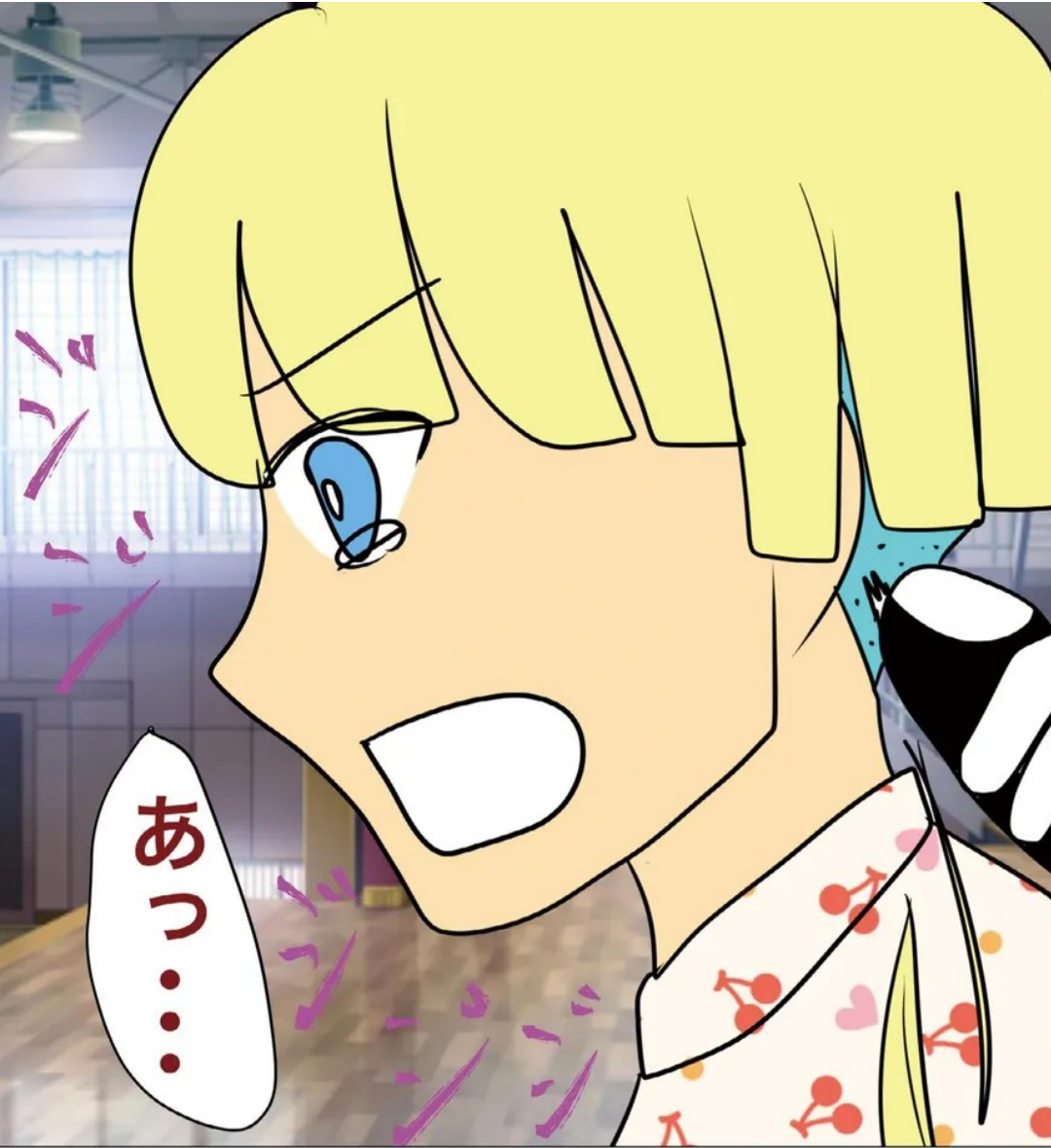
お、お願い
やめ…
きやあつ!

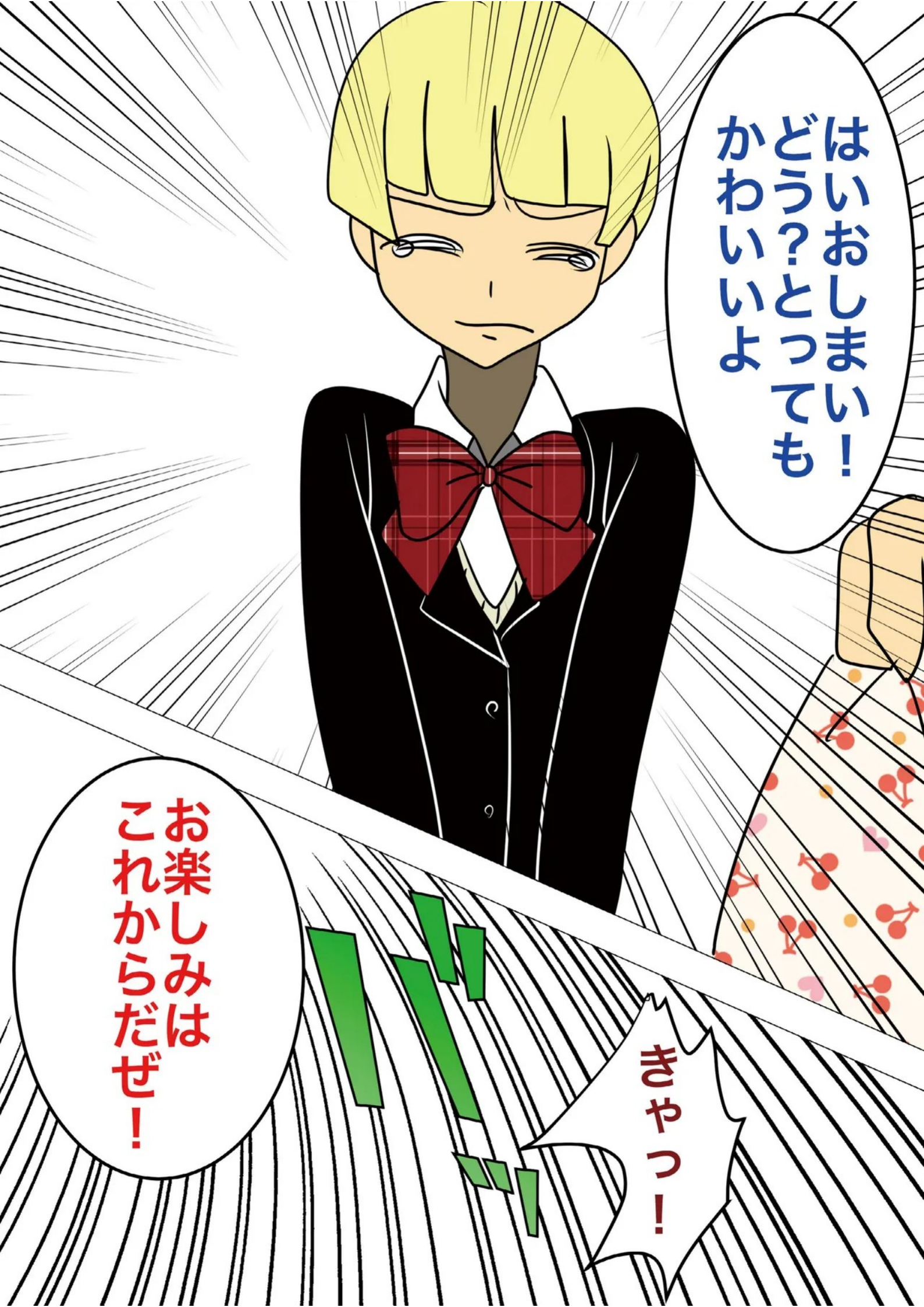


お、お願い
やめて…



皆さん
ご覧ください！
これが麻生氏の
髪です！





はいおしまい！
どう？とつても
かわいいよ

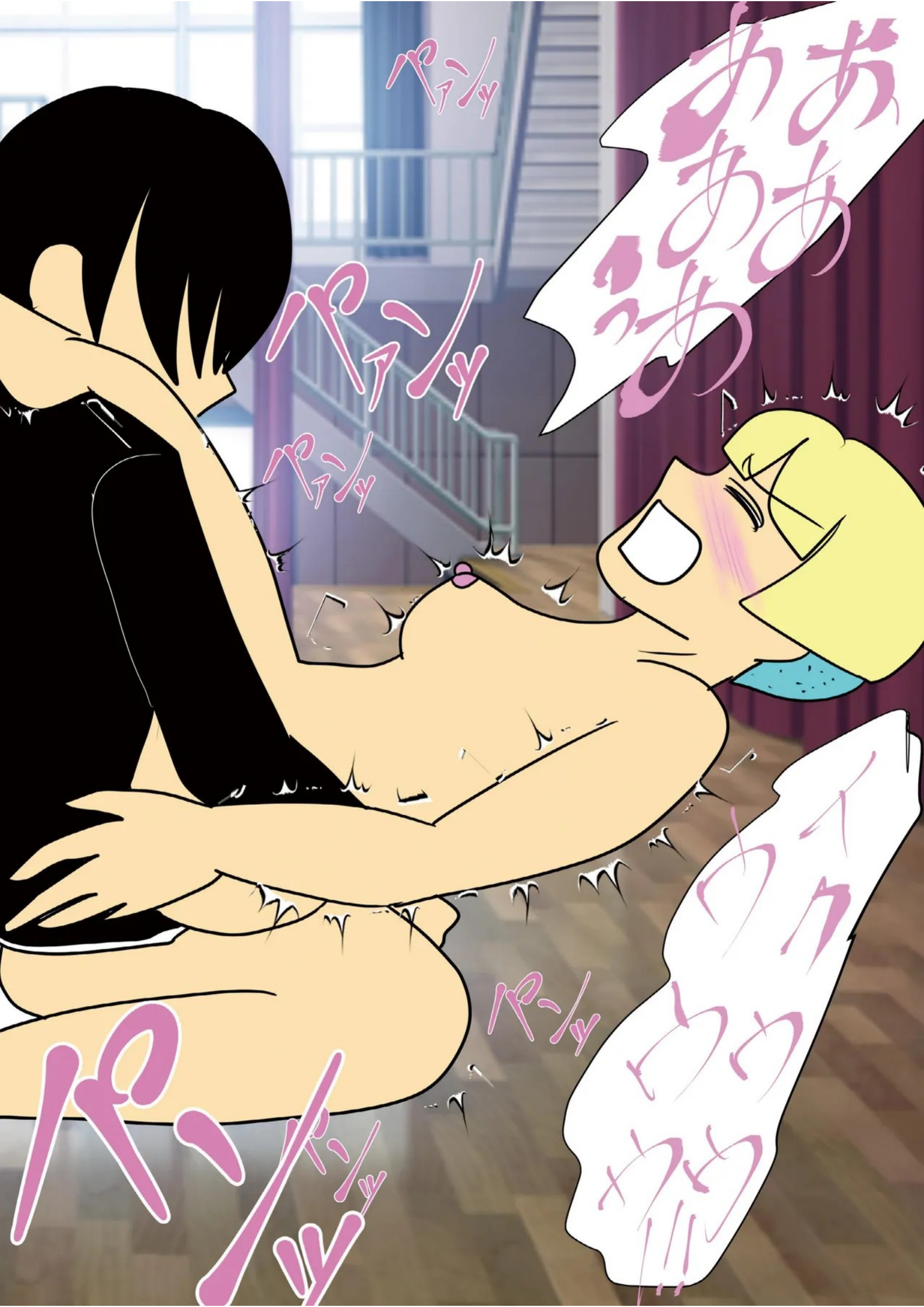
お楽しみは
これからだぜ！

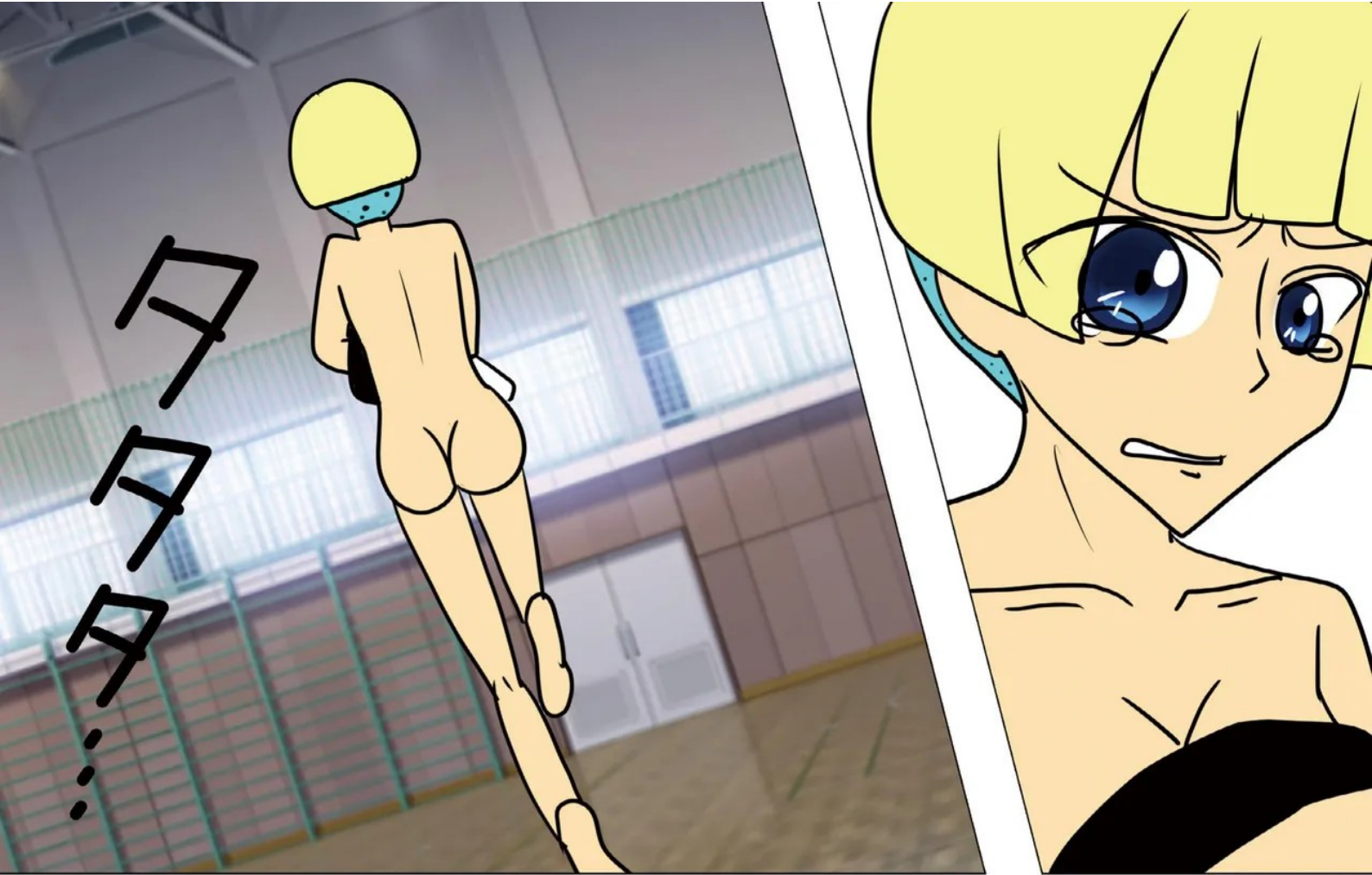
きやつ！



ほーなんことするだ。
こけで濡れるんだ。
じゃあすおうか！
イッ

いっ...





でもあれは
やりすぎだと
思うぞ。

うっ…

女の命を
救うなんて

そ、そう言う
お前だつて中出し
してるじゃんか!!

人のこと
全然言えないじゃん!

ハハハ、ごめん。
それもそうだな

じゃあそろそろ
行くわ。じゃあな!

じゃあね
さよなら
またね
あばよ!

少しの間だけでも
普通の十七歳の少年として
生活できてよかったよ…

…ほんと、感謝
しきれないくらい
感謝しているよ。

一ヶ月後…

会長、資料を
お持ちしました。

ありがとう
そこに
置いて

あれから一ヶ月が
経ち、僕は生徒会長の
仕事に励んでいた。

学院の悪事は
マスコミを通じて
知れ渡り、幹部は
辞職、学院の評判は
地に落ちた。

学院に居れなく
なつた麻生氏は
どこか遠くの
田舎の学校に転校
したと風の噂で
聞いた。



両親（？）が逮捕
されてから、僕は
遠くの親戚に引き
とられていた。

おとうと
義弟とはそれぞれ
別の親戚のところに
いるが、元から仲は
よくなかったため
特に支障は無い

文字通りカースト
制度は崩壊し、の
現在では序列なしの
普通の学院へいた。
なりかわつていた。

このような
悲劇を生まないよう
未来の世代に残し
いくようにするの
僕の仕事だ。

おしまい

